令和４年度事業報告

２月のロシアによるウクライナ軍事侵攻後、世界の分断が供給制約を深め食品やエネルギーなどの高騰、物価上昇を加速させた。また各国のインフレ対策の利上げも景気後退へ動いた。４月中国上海の大規模なロックダウンにより半導体部品の供給停滞も世界経済への妨げとなり、世界経済の年度当初のコロナ禍からの回復という楽観的見通しを大きく狂わせる結果となった。

日本国内では、年初からオミクロン株の流行でコロナ感染が拡大し、これを受けての「まん延防止等重点措置」により、個人消費を中心に経済活動が停滞した。また、ウクライナ関連での原材料価格の上昇や円安による輸入価格の上昇は国内物価を上昇させ企業の活動に影響を与えた。秋以降、政府の「全国旅行支援」や地方自治体の外食支援策「GoTo イート」の開始を受け、ウィズコロナに移行するなか個人消費、雇用・所得環境は、緩やかな持ち直しを見せた。

さて、新型コロナ感染者数のピークを何度か繰り返す中、全国で開催される経済同友会の会議もオンライン会議あるいはハイブリッド会議の形式から開催地でのリアル会議に移行していった。こうした中、２年延期していた「第１３回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット」が新型コロナ感染対策に留意し３年ぶりに鳥取市で開催され、県内外から１４０名の参加を得た。

岡山経済同友会との合同懇談会も鳥取市で開催され、互いの活動報告や意見交換などで交流を深めた。

また、米子で開催された島根経済同友会との合同懇談会では、鳥取県西部と島根県東部の観光戦略について中海・宍道湖・大山圏域市長会へ提言を行った。

このように感染防止に留意しながら令和４年度活動方針に沿って各種の活動を展開した。具体的な活動内容は次のとおりである。

詳細については各地区の総会でも事業報告がされているが、主な内容については次のとおりである。

１　監査会（4/18）
　　令和３年度会計監査

２　県幹事会（6/17）
　・令和３年度事業報告、決算について
　・令和４年度事業計画、予算案について
　・役員選任

３　県定時総会（6/17）

・令和３年度事業報告、決算について

・令和４年度事業計画、予算案について

・役員選任

４　正副代表幹事会（10/31　オンライン）

・第１３回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット

　・プログラムの内容及びパンフレットの確認について

　・予算書の修正について

正副代表幹事会（1/31　オンライン）

・第１３回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット決算報告について

・西日本経済同友会代表者会議の開催について

正副代表幹事会（2/24　オンライン）

・令和５年度定時総会開催について

・県同友会に対する負担金について

・全国会議日程・合同懇談会等開催予定について

５　例会・委員会・幹事会等（定時総会は各地区とも開催した）

＜東部地区＞

・定時総会　１回、正副代表幹事・総務委員長　（毎月開催）、総務委員会　毎月開催、例会　９回、デジタル化特別委員会　３回、校区編成・観光戦略特別委員会　２回　各委員会１０回

・各種会議・関係会議多数出席

＊例会（講演）のテーマ

・「DX・IOTなど先進技術を活かしたソリューション事業の紹介」（４月）

・「新型コロナを乗り越える」（５月）

・「アフターコロナ　～鳥取県におけるインバウンド旅客への　おもてなし向上策について～」（７月）

・「移住・定住と野球人生」（９月）

・「令和新時代の本県高等学校教育の方向性について」（１０月）

・「家のお手伝い・介護の今と昔　～家族の『当たり前』の変化に経営者が求められること～」（１０月）

・「コロナ禍の先行きを過去に実施した鶏コロナウイルス研究から考察」（１１月）

・「新型コロナを乗り越え、新たな鳥取を創る」（１月新年例会）

・「学生と経営者が語る地元企業の魅力発信２０２３」（２月）

・「山陰の魅力、再発見」（３月）

＊各委員会の活動

・活動方針に基づきキーワードに沿って研究議論、担当例会の打合せ

＜中部地区＞

・定時総会　１回、　幹事会　９回、　例会　７回（原則毎月第３金曜日）　委員会　１回

＊例会テーマ

・「倉吉市政の今後の見通し」（４月）

・「日本女性会議 2022in くらよし」（８月）

・見学会：「小川氏庭園　環翠園」（９月）

・「『企業版ふるさと納税』の概要と企業における活用方法」（１０月）

・「電力に関する最近の情勢」（１２月）

・「アートは街を活性化するか？」（１月）

・「鳥取県中部の現状、今後の活性化に向けて」（３月）

＜西部地区＞

定時総会　１回、幹事会　１回、監査会　１回、懇談会　３回、例会　１０回、
総務委員会　１０回、総務委員会総務正副委員長会議　１０回、
委員会・特別委員会　１３回、視察会・研修会　４回、
その他出席諸会議（協賛、後援含む）等　２６回

＊例会（講演）内容（テーマ）

・「新型コロナを乗り越える」（４月）

・「混迷の時代、何を頼りに経営をしていけば良いですか」（７月）

・「大山圏域の活性化　現在と未来」（７月）

・「ポストコロナに向けた海外ビジネス展開と経済安全保障（８月）

・「ロシアのウクライナ侵攻に思う～ある元商社マンのつぶやき～」（８月）

・「中国・台湾・東南アジア、ベストな市場はどこ？国ごとに異なる
アジア越境 EC の特徴と攻略法を伝授～国内向け自社 EC とは一味違う、
海外向けの特徴、注意ポイントをご紹介～」（８月）

・「境港の水産業・水産加工業のブランド化とその可能性」（１０月）

・「ふるさと教育読本『Roots 弓浜半島物語』の概要説明」（１１月）

・「米子の地域形成の歴史的転換点」（１１月）

・「1.5℃達成への道のり～COP27 エジプト会議から～
地域で取り組む“緩和”と“適応”」（１１月）

・「とっとりエコライフ構想“トットリボーン！”」
「とっとりエコサポーターズ（推進員）制度」（１１月）

・「エコサポーターズの活動紹介」「事業者の省エネの取り組み」
「事業者の再エネの取り組み」（１１月）

・「新型コロナを乗り越え、新たな鳥取を創る」（２月）

・「境港の他港との比較と境港のポテンシャルについて」（２月）

・「山陰プラネタリーヘルス構想」（３月）

・「山陰のヒットの教科書」（３月）

・「県立高等学校における魅力化・特色化について（３月）
・「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の仕組みについて」（３月）

６　全国の経済同友会との交流

・第３４回全国経済同友会セミナー（R4.4.14　オンライン）
【テ ー マ】ウクライナ危機：変貌する世界秩序と世界経済
～日本の針路を考える～
・第８回西日本経済同友会代表者会議（R4.7.14　福岡市）
・２０２２年全国経済同友会事務局長会議（R4.9.8　盛岡市）
・中国五県各経済同友会代表幹事と（公社）経済同友会幹部との意見交換会
（R4.10.13　広島市）
・西日本経済同友会代表幹事会（R4.11.4　山口市）
・第１１９回西日本経済同友会会員合同懇談会（R4.11.4　山口市）
・第１３回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット（R4.11.24～25　鳥取市）
【テ ー マ】「日本海沿岸地域の活性化を鳥取県から考える」
【基調講演】「日本海国土軸の今とこれから
～ビッグピクチャーの下、アクションを～
（一財）建設業技術者センター　理事長　谷口　博昭　氏
【特別講演】「これからの日本海沿岸地域の活性化」
衆議院議員　石破　　茂　氏
【事例発表】「山陰地方におけるインバウンド観光」
鳥取県経済同友会観光戦略委員長　秦野　博行
・２０２２年全国経済同友会代表幹事円卓会議（R4.12.5　高崎市）
・第２９回岡山・鳥取県経済同友会合同懇談会（R4.12.15 鳥取市）
【講　演】　築城技術からみる鳥取城史
【懇談会】　活動状況報告
鳥取県：「西部地区の活動報告について」
松村順史代表幹事
岡　山：「清水宗治と子孫の動向」と「委員会活動報告」
防災・ＢＣＰ委員長　清水　　男　氏
【意見交換】
【見　学】　鳥取城跡（擬宝珠橋・天球丸石垣）
砂の美術館　タカハマカフェ（隈　研吾設計）
・第４９回鳥取県・島根経済同友会合同懇談会（R5.2.14　米子市）
【提言発表】「山陰地方におけるインバウンド観光振興に関する提言」
松村順史代表幹事
【講　演】　「城山で考える米子市の観光戦略」
米子市長　伊木　隆司　氏

【講　演】　「松江市の観光戦略」
松江市長　上定　昭仁　氏
【対　談】　「山陰の真ん中で考える観光戦略」
米子市長　伊木　隆司　氏
松江市長　上定　昭仁　氏
進行　　鳥取島根合同委員会　　髙橋宏之委員長

・西日本経済同友会事務局長会議（R5.3.24　オンライン）

7　その他の会議への参加、出席等
・（公社）とっとり被害者支援センター理事会・総会
・連合鳥取との意見交換会
・鳥取県産業教育振興会理事会（オンライン）
・鳥取県サイバーセキュリティー対策ネットワーク総会（オンライン）
・国際定期便利用促進協議会総会
・米子空港利用促進懇話会総会
・米子中金会・米子中金ユース会・鳥取県中小企業団体中央会総会・講演会など

＊令和４年度版写真入会員名簿の作成

＊機関紙「経済同友」を全員に配布

＊その他経済同友会の関連の団体組織が主催する会議への出席参加等